

草木もようやく、長い冬の眠りから覚め、生命の息吹が感じられる季節になりました。

卒業生の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。在校生を代表し、お祝い申し上げます。私たち高校2年生と先輩方との出会いは、先輩方がコロナとともに入学したあの時から一年後のことです。私たちは、明星高校に入学する前、この日本に、新型コロナウイルスと言う脅威が立ちはだかり、世界各地に大きな影響を与えました。その影響を受け、先輩方は、様々な行事を、当たり前には享受できない状況の中、明星高校に入学されました。

普段は対面で開催する、新1年生の交流を目的にしたレクリエーションも、オンラインでの開催。授業も一定期間、オンラインでの開催。部活動や委員会活動等の課外活動を始め、様々な学校生活はこれまでの当たり前と異なり、納得できる学校生活を送れなかったと感じている先輩もいらっしゃるのではないかと思います。その異例の事態の中で、新しい学校生活のあり方を必死に追求されてきた先輩方が私たち後輩に残してくださった財産があります。それは「心を強く持つことの大切さ」と「やってみることの大切さ」です。

私たちが現在当たり前のように受けることができるオンライン授業。これは先生方と先輩方とで試行錯誤を繰り返すことで、現在の新たなスタンダードを作り出すことになりました。レクリエーションでも様々な不安があったことと存じます。しかし、その中で、あきらめない実行力を持って、先輩方にしかできないことを探求されたからこそ、明星高校はここまで成長できたのだと思います。私たち後輩が楽しく学校生活を送れているのも、先輩方が「新しい明星の文化」を創ってくださったおかげです。本当にありがとうございます。

このように、明星に新しいオンラインとあり方を、先生方と共創された先輩方は、これにとどまらず、SDGsと言う新しい風をこの明星高校に吹き込んでくださったのです。学校内のペットボトル商品の廃止。ジェンダー平等の観点からの制服のあり方の見直し。マイボトル持参を明星のスタンダードにした「マイミズ」とのコラボによるマイボトルの制作と販売等々、私たちの探求活動の元となる時代に先駆けた企画をたくさん創造し、ゼロからイチを作ることができる希望を私たち後輩に与えてくださいました。

高校2年生も総合探求で、先輩方の背中を追いかけてきましたが、一方踏み出す勇気がなく、諦めそうになるチームも出てしまいました。しかし、先輩方が「私たちでもできたから」と総合探求の際にかけてくださった言葉を、私たちにやってみることの大切さを教えてくれ、それによって、くじけそうになる心を奮い立たせ、何とか最後の発表にまでたどり着くことができました。コロナが原因で活動が衰退してしまった学校や行政、市民家市民団体がある中、この明星はむしろ活動が活発になっています。これはあきらめない精神を持って道を切り開いてきた先輩方と、その先輩方から心を強く持つことの大切さを学んだ我々後輩とで成し遂げたものだと言っています。

現在、高校生徒会を中心に拘束のあり方を見直す動きが出てきています。こうした動きは、先輩方が探究活動を通じ、ジェンダーの問題を学校に提起し、結果、多くの生徒と先生が議論を重ねるようになり、生まれたものだと思います。

これから先、コロナウィルスだけでなく、様々な脅威が今日本をすることが予想されています。また、多様性の時代とされることに加え、ICTの進歩に伴い、様々な環境が大きく変化し続ける、変化の時代とされています。現在の当たり前も、未来では当たり前じゃなくなっているかもしれません。

そんな時代でも、先輩方が乗り越えた、このコロナと言う壁は、知らぬ間に先輩方を成長させてきたことと存じます。これからも、明星で皆さんが作った新しい明星の文化を武器に、次のステージでも頑張ってください。

ご卒業後に是非、明星まで足をお運びいただき、明星の卒業生らしい、素敵な体験をお聞かせください。これは、後輩は、明星の学び舎でお待ちしております。先輩方、今後とも、明星の後輩達へ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

令和5年3月1日

在校生代表

宇佐原 嘉晃